

## 平和な毎日

南城市立知念小学校六年 親川 愛生

みなさんは「戦争」と聞いてどのようなことを思い浮かべますか。赤い海や黒い空など今の生活には見られも、考えられもできないおそろしい光景を思い浮かべるでしょう。私もこのようなことをたくさん思い浮かべます。

しかし、一番おそろしいことは「人の死」だと思います。私は、学校に行くといつも同級生や仲の良い友達がいまいます。そして、家に帰ると家族が当たり前のようについて家族とすごせます。

でも、家族や友達が周りにいることが戦争をしていると当たり前ではなくなります。学校に行けることも、みんながはじめをせずに笑顔で仲が良いこともそうだと思います。なので、周りにたくさん仲間がいることがとても平和だなと感じました。

私は毎日朝、昼、夜三食ご飯をおなかいっぱい簡単に食べられませんが、戦争中は時間もなくて、にげながらも数少ない貴重な食べ物を食べていたと聞きました。なのに、あまりおなかをふくらず、栄養不足で死んだ人が多かったと想像すると、経験した人はとてもつらかったんだなと思います。

もし、食べ物の中に苦手な食べ物があっても生きのびるために、食べ物を残すことができないのが戦争です。そう考えると好ききらいができて、いつでも、どこでも好きな食べ物が自由に食べられて幸せだなと感じました。

私は、今、六年生で学校にも毎日行っています。好きな学習もあります。でも、苦手な学習もあって学校に行きたくないときもあります。戦争の時は自分の考えとちがくても、相手の考えに納得いかなくても

自由に意見や考えが出せなかった時代だと、話を聞きました。その話を聞いて、とてもおそろしい生活が続いたんだと思い、今自分がどれだけ自由に生きられているんだと改めて感じるようになりました。

このおそろしい経験は、昔の話だと思っても多いでしょう。しかし、日本は平和でも世界に視野を広げると、話はかわります。世界にはご飯をおなかいっぱい食べたくても、家庭が貧しく、十分においしく食べられないこともとても多いです。さらに、学校に勉強をしに行きたくても、同じ理由で家の手伝いをしたり少しでもお金を増やすために子供が商売をするという生活が続いて大人になっても文字が書けないし、読めないという人も少なくないという話も聞いたことがあります。

平和だと表れるのは、人だけではありません。周りがある自然もそうだと思います。平和な国は整えられた草や木がたくさんあり、海も青くきれいです。でも、戦争をしている国は緑色のきれいな植物や青色のきれいな海がなかったかのように空は黒く、海は真っ赤にそまるので、私にとってはふつうでもふつうじゃない国もあると思います。

このように、戦争は当たり前のことが当たり前にできないおそろしい日々が続くことです。なので、日本の戦争を二度と起こさないために、世界から少しでも幸せな暮らしが増えるために願いながら自分にできることを積極的に取り組みたいと思います。